

脱炭素エネルギーの利活用を積極的に推進しています —市民の森（旧ぶどう村）活用などの電源開発事業の状況

市は、地域エネルギー会社「柏崎あい・あーるエナジー株式会社」とともに、脱炭素エネルギー政策に積極的に取り組んでいます。市内の遊休地を活用した電源開発、公共施設への脱炭素電力供給から脱炭素の流れを作り、市内産業界からもご理解をいただきながら、産業界の脱炭素化を推進していきます。

第六次総合計画では、令和 11 (2029) 年度までに「供給先で使用する電力の脱炭素エネルギー導入比率」を約 3 倍に拡大する目標を立て、取り組みを進めます。

1 市民の森（旧ぶどう村）の電源開発事業

市民の森（旧ぶどう村：柏崎市大字芋川 2327 番地 96 他）を太陽光発電用地として利活用するため、令和 7 (2025) 年度に電源開発事業の実施主体を公募しました。最優秀提案者と事業協定書を締結し、現在は工事着手に向けた準備を進めています。

- (1) 事業協定先 エネグローバル株式会社（茨城県つくば市）
- (2) 工事着手 令和 9 (2027) 年を予定
- (3) 設置完了 令和 10 (2028) 年を予定
- (4) 売電期間 20 年
- (5) 開発面積 45,000 m²
- (6) パワコン容量 1,980kW

※容量は変更になる場合があります。



2 市の脱炭素エネルギー政策の取り組み

柏崎市と地域エネルギー会社「柏崎あい・あーるエナジー株式会社」は、脱炭素エネルギー政策の実現に向け、連携して取り組みを進めています。

	柏崎市	柏崎あい・あーるエナジー
役割	【環境整備】 ・経済性に配慮し、脱炭素エネルギーを利活用する環境整備に努める ・電源開発用地として遊休市有地の貸し付けや、貸付要件を調査	【脱炭素エネルギーの供給】 ・安価で安定した脱炭素エネルギーを市内に優先的に供給 ・電力事業による収益は、サービス向上の原資とし、地域循環を促進
所有施設	【太陽光発電所】 鯨波、西長鳥	【太陽光発電所】 安政町、北条、浜忠 【蓄電池】 ドックスフロー電池 3基
今年度の取り組み	・電源開発用地として「石地小グラウンド跡地」の貸し付けを予定 ・遊休市有地の再エネ導入可能性調査を実施	・公共施設をはじめとした 72 施設への電力供給を継続 ・市内民間事業者への電力供給拡大を促進